

2016 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2018 年度分)

<p>団体名</p>	<p>社会福祉法人 白寿会</p>		
			
			

今年度は、JR 西日本あんしん社会財団様より AED 等訓練器の提供を受けたことで可能となった、当会独自の講習スタイル「救9の日」の充実を図りました。

救9の日とは、毎月9日(土日祝を除く)に救命講習を企画・実施するものです。この講習では、A講習とB講習という内容の違う講習会を実施しています。

これは、普通救命講習修了となる3時間の長時間講習を企画することが難しくなったため、内容を分割し、最も参加の多いA講習(心肺蘇生とAEDの実習を行う1時間講習)の受講生に、その後、B講習(A講習の復習とファーストエイドの実習を行う1時間講習)を受講してもらい、「救命テスト中級」(大阪市消防局のホームページを活用)にも合格してもらうことで、普通救命講習の修了につなげられる取り組みです。

今年はA講習の受講者が95名で、その内、9名が追加受講し、普通救命講習修了となりました。

この3年間で、71回の講習を実施しました。当会の所属する8名の応急手当普及員が手分けして指導してきましたが、回数を重ねることで、指導もスムーズになっています。応急手当普及員の集まる会議を開催し、更新研修の情報交換を行い、指導の標準化を図るため、指導の様子をDVDに撮影して、皆で確認する機会ももちました。配布資料も充実させ、繰り返し受講になる人にとっても有効な復習となるよう、重要なポイントについては穴埋め式のものを新たに作成し、参加者からの質問に応じて、乳児や幼児の応急手当についての資料を追加するなど、工夫を重ねています。この会議は今後、公式な法人内委員会として位置付けられることとなりました。

この3年間で、より広く応急手当を伝えていく素地をつくることができたと考えております。